

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
AM12Z302		健康科学概論 (Introduction to Health Science) *大分を創る科目(Oita Development Course)					導入教育科目 福祉・地域		対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	1	1	看護学科	前期	金4	日本語				複数(共同)					
担当教員	氏名 山本恭子														
	E-mail kyoko-yamamoto@oita-u.ac.jp 内線 6761														
授業の概要	豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る医療人としての職責を自覚する。 キャリアを意識し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。 他者と協働し、建設的な議論を行い、チームで課題に取り組む姿勢を養う。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1 大分県の地域医療の課題について概説できる												○			
目標2 病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる											○				
目標3 医の倫理と生命倫理に関する規範、ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言などを概説できる											○				
目標4 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる											○				
目標5 医療が多くの特門家(保健、医療、看護、福祉、介護)の協力体制で成立していることを概説できる								○							
目標6 在宅における終末期医療、看取りの在り方と課題を概説できる												○			
目標7 文化・ジェンダーと医療の関係を考えを述べることができる												○			
目標8 生涯学習の重要性を説明できる														○	
目標9 将来看護師、保健師、看護学研究者として自分自身が備えるべき資質について説明でき、それを基に行動できる														○	
目標10 コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる									○						
各DPへの関連度(計10)									3		3	2	2		
授業の内容															
1	大分県×医療について考える														
2	人間の生老病死の四苦にどう対応するか														
3	医療は平等か公平か														
4	病とともに生きるとは？														
5	性感染症・無月経・卵子の老化とその後の人生														
6	医療の論理と倫理をめぐって														
7	医療人のダイバーシティ推進														
8	グループ討論「医療人として男女ともにキャリアを継続するためには何が必要か」														
9	医療専門職として、いのちとどう向き合うか														
10	かけがえのない今を生きる - 生と死の緩和ケアの現場から -														
11	医療タスクとチーム医療														
12	グループ討論「医療人として今、身に付けておくべき資質とは」														
13	全体発表会														
14															
15															
ラーニング ポイント グループ	A:知識の定着・確認		グループ討論(KJ法、二次展開法)を行ない、その成果物を作成する 全体発表会で発表し、相互評価を行う。 課題レポートの提出。				工夫 その 他の	LMS(Moodle)の活用(事前アンケート、相互評価、レポート提出)							
	B:意見の表現・交換														○。
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														○
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		事前にMoodle上に掲載された資料で予習する(10h)												
	事後学修		講義の配布資料を読んで復習し、課題レポートを作成する(15h)												
	想定時間合計		25												
教科書	教科書を指定しない														
参考書	参考書を指定しない														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	課題レポート	60%	○	○	○	○	○	○		○		
	グループ討論の態度	30%		○					○	○	○	○
	全体発表会のプロダクト	10%		○					○	○	○	○
		授業時間の 3 分の 2 以上の出席がなければ、単位は与えません。										
注意事項	諸事情により講義日、講義内容が変更になる可能性があります。											
備考	講義時間：金曜日第 1 限目（ 9：00～10：30） 講義室：臨床大講義室で実施します。。											
リンク	Moodle											
	URL											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	医師・看護師・臨床検査技師・臨床工学技士											
教員以外で 指導に関わる 実務経験者の有無	○											
教員以外の 指導に関わる 実務経験者	医師・看護師・臨床検査技師・臨床工学技士											
実務経験を いかした教育内容	医師・看護師・臨床検査技師・臨床工学技士として臨床や研究の経験を生かした授業を行う。											